

第3回大阪市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会 会議要旨

- 1 開催日時 平成26年3月31日(月) 13時30分～
- 2 開催場所 大阪市役所 地下1階第11会議室
- 3 出席委員 多田羅委員(専門分科会長)、石田委員(専門分科会長代理)、早瀬委員(保健福祉部会長)、中尾委員(保健福祉部会長代理)、上野谷委員(介護保険部会長)、植田委員(介護保険部会長代理)、家田委員、池尾委員、伊藤委員、乾委員、大槻委員、甲斐委員、後藤委員、白澤委員、辻委員、堤委員、手嶋委員、道明委員、野口委員、三浦委員

4 議 題

- (1) 大阪市高齢者実態調査の結果について
- (2) 介護保険制度に関する主な制度改正等について
- (3) 次期「大阪市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定について
- (4) その他

5 配布資料

資料1 大阪市高齢者実態調査の概要

- 1-1 大阪市高齢者実態調査報告(本人調査・付随調査)
- 1-2 大阪市高齢者実態調査報告(ひとり暮らし調査)
- 1-3 大阪市高齢者実態調査報告(介護保険サービス利用者調査・未利用者調査)
- 1-4 大阪市高齢者実態調査報告(介護支援専門員調査)
- 1-5 大阪市高齢者実態調査報告(施設調査)

資料2 介護保険制度の改正案について

資料3 次期「大阪市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定について

(参考資料)

- 1 「大阪市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の進捗状況
- 2 大阪市介護保険事業の現状について
- 3 大阪市社会福祉審議会条例、同条例規則、同運営要綱

6 会議要旨

【議題(1)】

- 事務局から、資料1に基づき、大阪市高齢者実態調査における各調査票の回収状況等について説明。

○事務局から、資料1-1に基づき「高齢者本人調査」について、資料1-2に基づき「ひとり暮らし調査」について、資料1-3に基づき「介護保険サービス利用者・未利用者調査」について、資料1-4に基づき「介護支援専門員調査」について、資料1-5に基づき「施設調査」について、主な結果概要について説明。

(主な意見等)

- ・非常に細かい分析もあるが、調査結果から、ある種のモデルケース、どのような状態の方がいるかなどが見えてきた方が、施策を考えやすいと感じた。
- ・区ごとの回答数があるということなので、区ごとに何が必要かということもある程度わかればいいと感じる。
- ・大阪市は伝統的なつながりを大切にする傾向があると感じている。だからこそ地域とのつながりといいますか、地域福祉をきっちりとしていく必要があると感じている。区に任せるのではなく、オール大阪として地域福祉を考えていただきたいと思う。調査結果についても、わかりやすい形で進めていただきたい。
- ・報告書の作成だけで終わるのではなく、さらに調査結果を分析いただき、施策につなげいていただきたい。
- ・医療法の改正の関係で地域医療構想（ビジョン）をどう立てて、次期の高齢者の計画にどう反映していくのかということが求められていると感じている。健康づくり、認知症施策についてもきっちりと進める必要があると感じている。
- ・調査結果からは、必要なものとして、地域の見守りや食事サービスなどの取組みが回答として多く選ばれている。現状は、こういった取組みが、市の事業の見直し等の影響を受けて変わってしまっている。これらの取組みは、地域のボランティアや支え合いの大きな意識付けになっていたが、こういった地域の支え合いがなくなってきているように感じる。地域活動の醸成なども必要だと感じている。
- ・2025年に向けて後期高齢者の増加があり、調査結果としても、75歳以上の後期高齢者の分析ができるような内容が必要だと感じる。本人調査以外の介護保険サービス利用者調査等は年齢階級分析がないため、年齢による分析もしっかりと入れていただきたい。また、今後の地域包括ケアのエースは地域包括支援センターだと感じており、調査結果として地域包括支援センターが中心になり、重要であることがわかるような内容がいいと感じた。
- ・今回の介護保険事業計画は、地域包括ケア計画にする必要があるとされている。これまでの施設数がいくらというものだけではなく、例えばひとり暮らしの方を対象とする見守りサービスをいくらとか、食事サービスをいくらとか、ソフト面の目標数を掲げることも検討した方がいいのではないかというふう感じた。

【議題(2)、(3)】

○事務局から、資料2に基づき「介護保険制度の主な制度改正内容等」について、資料3に基づき「次期大阪市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定」について説明。

(主な意見等)

- ・今回の予防給付から事業に移行するという点について、これまでの全国一律の基準ではやはり実績が伸びないということで、各保険者が実情にあわせて柔軟に事業を進めるということだと思っている。今後、検討を進めていただきたい。
- ・元気な高齢者が増えているということを実感している。2025年問題を考える際に、健康な高齢者が活躍することも必要になってくるというように感じている。

【議題(4)】

○その他については、特になし。